

国語 第2学年 読んで、かんじたことをつたえ合おう 検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：スーホと白い馬の関係を行動から確かめ、印象に残った場面とその理由を伝え合う。あらすじを長く説明するだけにせず、自分が選んだ場面のどの行動から何を感じたかを示す。C(1)力の学習として、印象に残った場面の紹介。行動、そこから感じたこと、友達の感想を聞いて気付いたことを残す。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、スーホと白い馬の行動から感じたことを、選んだ場面を示しながら友達と共有しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)力の姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：印象に残った場面の紹介を残す。行動、そこから感じたこと、友達の感想を聞いて気付いたことを残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)力に関わる学習の中身をかめめる。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：悲しかったという感想だけになる。登場人物の行動を自分の願いに置き換える。友達の感想をそのまま写す。これについて、スーホと白い馬の行動を別の欄に書き、どの場面かを確かめる。読みに時間がかかる児童には選んだ場面を教師と音読する。自分の経験や喪失体験を話すことは求めない。〔知識及び技能〕(1)クとC(1)力を切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「スーホと白い馬のどんな様子が印象に残りましたか。その場面を選んだ理由を、行動が書かれたところから話しましょう」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)力に関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：印象に残った場面の紹介は紙に記録できる。行動、そこから感じたこと、友達の感想を聞いて気付いたことを残す。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)力の評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)力で目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：物語の教訓をまとめなくてよいのか。

返し：C(1)力は読んで感じたことや確かめたことを共有する学習である。動物を大切にすべきだという同一の感想を求めず、場面を根拠にしたそれぞれの感じ方を扱う。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「スーホと白い馬のどんな様子が印象に残りましたか。その場面を選んだ理由を、行動が書かれたところから話しましょう」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)カに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

